

# 三村純也先生記念講演会当日出句

(令和八年三月二十日)

当季雑詠2句出句

## 【三村純也先生選】

### 特選

自転車で少し遠出の春隣

津田弘月

お屋敷はマンションとなり初桜

境 雅秋

布を裁つ鋏を置きて春惜しむ

内海由美子

揚雲雀空の深さを測りゆく

山本澄恵

啓蟄や古希に再びハノンから

和泉 攷

### 入選

咲き継ぎてお屋敷跡の花辛夷

横尾典子

あるなしの蘆の角組む芦屋川

内田陽子

つひに子の靴ぬぎすてて磯遊

畠中俊美

初花に祝ぎの心を重ねけり

山崎貴子

飾られてポニーも祭馬となる

竹内万希子

マニキュアの水仕の指の春の色

河村久美子

チャペルよりボーイソプラノ木の芽風

上岡あきら

日溜りの亀首を出し彼岸寺

大竹美智子

講演のなには言葉の暖かし

奥田好子

寝落ちせる妻放つておく春炬燵

稲垣碧星